

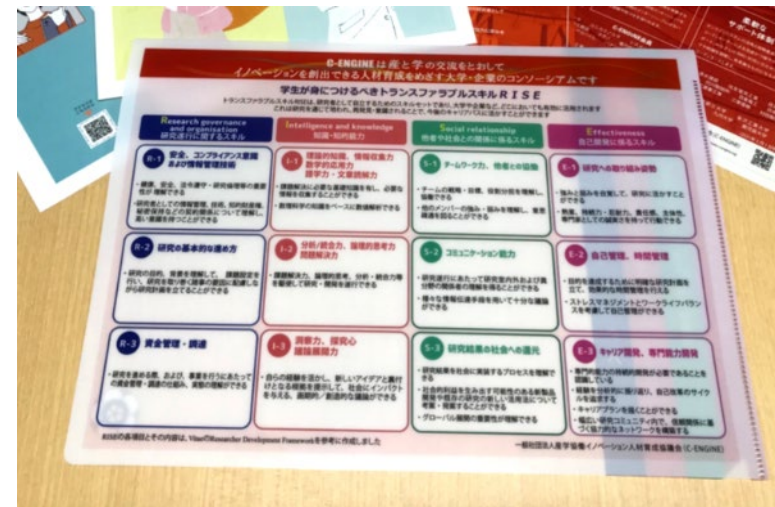
トランスファラブルスキルとは？

あなたの大学院での学びや研究をキャリアに活かすための
入門編と応用編を説明します

キャリア開発支援本部



ガイダンス資料に入っています！
トランスファラブルスキルRISEの
クリアファイル



トランスファラブルスキルとは？

● 研究で培われる転用可能な能力

- 平たくいうと「研究で身につく、どこでも使える力＝スキル」
- 高度で専門的な知識ではなく、その基礎（土台）となる力
- したがって、どこに就職しても役立つ力と言えます

● なんだか、つかみどころのないスキルですね。

- たしかに、いろいろなスキルの総称なので、無理もないです。
- そこで一覧表《トランスファラブルスキルRISE》をご紹介します。
- **R**esearch **I**ntelligence **S**ocial **E**ffectiveness
- 整理された $4 \times 3 = 12$ のスキルを見てみましょう

C-ENGINEは産と学の交流をととして イノベーションを創出できる人材育成をめざす大学・企業のコンソーシアムです

学生が身につけるべきトランスファラブルスキル R I S E

トランスファラブルスキルRISEは、研究者として自立するためのスキルセットであり、大学や企業など、どこにおいても有効に活用されます。これは研究を通じて培われ、再発見・意識されることで、今後のキャリアパスに活かすことができます。

Research governance and organisation 研究遂行に関するスキル

R-1 安全、コンプライアンス意識 および情報管理技術

- 健康、安全、法令遵守・研究倫理等の重要性が理解できる
- 研究者としての情報管理、技術、知的財産権、秘密保持などの契約関係について理解し、高い意識を持つことができる

R-2 研究の基本的な進め方

- 研究の目的、背景を理解して、課題設定を行い、研究を取り巻く諸事の要因に配慮しながら研究計画を立てることができる

R-3 資金管理・調達

- 研究を進める際、および、事業を行うにあたっての資金管理・調達の仕組み、実態の理解ができる

Intelligence and knowledge 知識・知的能力

I-1 理論的知識、情報収集力 数学的応用力 語学力・文章読解力

- 課題解決に必要な基礎知識を有し、必要な情報を収集することができる
- 数理科学の知識をベースに数値解析できる

I-2 分析/統合力、論理的思考力 問題解決力

- 課題解決力、論理的思考、分析・統合力等を駆使して研究・開発を遂行できる

I-3 洞察力、探究心 議論展開力

- 自らの経験を活かし、新しいアイデアと裏付けとなる根拠を提示して、社会にインパクトを与える、画期的／創造的な議論ができる

Social relationship 他者や社会との関係に係るスキル

S-1 チームワーク力、他者との協働

- チームの戦略・目標、役割分担を理解し、協働できる
- 他のメンバーの強み・弱みを理解し、意思疎通を図ることができる

S-2 コミュニケーション能力

- 研究遂行にあたって研究室内外および異分野の関係者の理解を得ることができる
- 様々な情報伝達手段を用いて十分な議論ができる

S-3 研究結果の社会への還元

- 研究結果を社会に実装するプロセスを理解できる
- 社会的利益を生み出す可能性のある新製品開発や既存の研究の新しい活用法について考案・発案することができる
- グローバル展開の重要性が理解できる

Effectiveness 自己開発に係るスキル

E-1 研究への取り組み姿勢

- 強みと弱みを自覚して、研究に活かすことができる
- 熱意、持続力・忍耐力、責任感、主体性、専門家としての誠実さを持って行動できる

E-2 自己管理、時間管理

- 目的を達成するために明確な研究計画を立て、効果的な時間管理を行える
- ストレスマネジメントとワークライフバランスを考慮して自己管理ができる

E-3 キャリア開発、専門能力開発

- 専門的能力の持続的開発が必要であることを認識している
- 経験を分析的に振り返り、自己改革のサイクルを追求する
- キャリアプランを描くことができる
- 幅広い研究コミュニティ内で、信頼関係に基づく協力的なネットワークを構築する

トランスファラブルスキルTS-RISEの活用例

● TS-RISEは大学院生の就活の武器になる

なるほど、大学院生ならではの強みですね。
あなたの研究上での取り組み姿勢や考え方を、ぜひ、わが社の仕事でも活かしてほしいです。



研究内容は直接活かさせなくても、研究の経験の中には、面接官の心を動かす材料があるのね。
RISEからヒントを得られてよかった！

● TS-RISEは自分なりの研究上の目標設定のガイドになる

●ENGINEは産と学の交流をとおして
イノベーションを創出できる人材を育成する大学院生へのコンソーシアムです

トランスファラブルスキルとは、研究を通して習得するスキルであり、大学卒業後も、これらを活用して活躍することができます。これは研究を通して得られ、再教育・継承されることで、今後のキャリアに活かすことができます。

Research experience 「研究経験」 研究上の経験	Intelligence and knowledge 「知能・知識」	Social relationship 「関係性」	Effectiveness 「効果性」
1-1 論文、コンファレンス発表などの研究発表経験 ・論文、学会、学会発表、研究発表などの経験 ・研究発表の経験 ・研究発表の経験 ・研究発表の経験	1-1 論理的知識、批判的思考力 ・論理的知識、批判的思考力 ・論理的知識、批判的思考力 ・論理的知識、批判的思考力	1-1 チームワーク、協働の経験 ・チームワーク、協働の経験 ・チームワーク、協働の経験 ・チームワーク、協働の経験	1-1 研究への取り組み姿勢 ・研究への取り組み姿勢 ・研究への取り組み姿勢 ・研究への取り組み姿勢
1-2 研究の基本的な研究方針 ・研究の基本的な研究方針 ・研究の基本的な研究方針 ・研究の基本的な研究方針	1-2 分析・報告力、論理的思考力 ・分析・報告力、論理的思考力 ・分析・報告力、論理的思考力 ・分析・報告力、論理的思考力	1-2 コミュニケーション能力 ・コミュニケーション能力 ・コミュニケーション能力 ・コミュニケーション能力	1-2 自己管理、時間管理 ・自己管理、時間管理 ・自己管理、時間管理 ・自己管理、時間管理
1-3 資金管理・調達 ・資金管理・調達 ・資金管理・調達 ・資金管理・調達	1-3 読解力、採択力 ・読解力、採択力 ・読解力、採択力 ・読解力、採択力	1-3 研究結果を社会へ伝える ・研究結果を社会へ伝える ・研究結果を社会へ伝える ・研究結果を社会へ伝える	1-3 ネットワーク、専門知識 ・ネットワーク、専門知識 ・ネットワーク、専門知識 ・ネットワーク、専門知識

※各項目の具体的な内容は、Value-Based Development Frameworkを参照してください。



漠然と「興味があるから」研究していたけど、このままでいいのかな？って思いはじめていました。
自分の弱点を見つめて、具体的にどうしたらいいか考えるのに役立ちそうです。
「いい研究」になりそうな予感！

奈良女子大学とTS-RISE(トランスファラブルスキルRISE)

- **研究インターンシップの効果の明確化のために活用 (R1)**
 - 大学院生が企業の研究所で**研究インターンシップの効果**を「見える化」するツールとして**C-ENGINE** (産学協働イノベーション人材育成協議会) が策定
- **博士後期課程の授業にも導入 (R2)**
 - 「研究で培われる力」なら**ドクターコースの学生に知ってほしい**
 - **授業2科目**の中でTS-RISEを導入
- **TS-RISEを印刷したクリアファイルをつくりました**
 - ガイダンスの時に配っているので、みなさんも持っているはず！
- **博士前期課程の学生さんにも、知ってほしい (R5)**
 - 文科省も推奨するトランスファラブルスキルなので、ぜひ。

トランスファラブルスキル
博士前期課程
入門編

トランスファラブルスキルRISEを博士前期課程の皆さんに
知ってもらうために、まずは授業との紐づけをしました。

キャンパスメイト > 各種資料一覧 > 博士前期課程学生用

各種資料一覧

ファイル一覧

- ▶ 選択したキャビネット内容は以下の通りです。
- ▶ フォルダをクリックしてください。

→ キャビネットファイル・フォルダを検索する

- 博士前期課程学生用
 - ★令和6年度後期ガイダンス
 - ★揭示連絡
 - トランスファラブルスキル(令和5年度)
 - トランスファラブルスキル(令和6年度)
 - 令和6年度前期ガイダンス

1-5件表示/5件中

フォルダ名・ファイル名/コメント	更新日	更新者	詳細
★令和6年度後期ガイダンス	06.7.2		ガイダンス日程揭示
★揭示連絡	07.10		集中講義日程更新(文学系更新)
	05.31		補講(文学系)
	05.29		休講(文学系)
	04.12		教室変更(文学系)
トランスファラブルスキル(令和5年度)			
トランスファラブルスキル(令和6年度)			
令和6年度前期ガイダンス	06.04.02		ガイダンス資料掲載
	06.02.13		ガイダンス日程揭示

ここから
ダウンロード

前回ログイン日時

2024年7月24日
10時41分

ログインユーザ

各種資料一覧閲覧用

連絡

- メッセージ登録
- メッセージ受信一覧
- メッセージ送信一覧
- 宛先条件設定
- 代行ログイン
- 各種資料一覧

前の画面へ戻る

しかし！ もっと確実に活用したいという人は

トランスファラブルスキル
博士前期課程
応用編

研究室の仲間などとのピア・レビュー
または自己評価で研究力向上&自己PRの材料に

12のスキルのより詳しい《具体例》が書かれたシートで
授業ではなく、研究している自分を分析しよう！

- ① トランスファラブルスキルについてより深く理解
- ② 研究する上で「意識化したいスキル」を3つ選ぶ
- ③ 身近にいる**研究室のメンバー**など（=ピア：2～3人）に
選んだスキルと選んだ理由をお互いに伝えておく。
相手がいなくても大丈夫！
- ④ 選んだスキルについての**振り返り**・感想を書く
- ⑤ 仲間やコーディネーターと**シェア**、コメントしあう

研究室の仲間などとのピア・レビューまたは自己評価で 研究力向上 & 自己PRの材料に

- ① トランスファラブルスキルについて理解
- ② 研究する上で「意識化したいスキル」を3つ選ぶ
- ③ 身近にいる研究室のメンバーなど（＝ピア：2～3人？）に選んだスキルと選んだ理由をお互いに伝えておく

利用開始

自分で選んだ
3つのスキルを
意識して
日常の研究活動を行ってください

選んだスキル	
R-2	****
I-2	*****
S-1	*****

相手が選んだスキルについて知ること
スキルへの理解が深まるかも

選んだスキル	
I-1	****
S-2	*****
E-2	*****



選んだのはいいけど
これからどうしたらいいのかな？

どうなるかはよくわからないけれど
目標があるのはいいことよね



- ④ 選んだスキルについての振り返り・感想を書く
- ⑤ 仲間とお互いにシェア、コメントしあう

2～3ヶ月後

(ある程度の期間が必要)

スキルを意識してたから
ゼミの発表もうまく行った
ような気がする



(ピア・レビュー)

具体例を見たら何をしたらいいかわかったような気がしたよ

相談予約をしてコーディネーターと一緒にレビューしてもいいですね

相手がいない！という人は自分の振り返りのお話をコーディネーターにしてもいいですよ



キャリア開発支援本部

→ 自分の強みとして就活で活用 新たなスキルへの挑戦で研究力向上！

トランスファラブルスキル
博士前期課程
応用編

応用編にトライしてみようと思う方は
こちらからRISEシート（Excel）を
ダウンロードしてください。

https://cdpd.nara-wu.ac.jp/nwu_transferable_skill/



男女共同参画推進機構 キャリア開発支援本部について

部屋は
G棟4階 G406
相談室 G414

● 大学院生（以上）に特化したキャリア支援

- マスターからポストドクター（学位取得後）までを支援
- 大学院生の**研究インターンシップ（C-ENGINEなど）**のコーディネート
- 大学院生の**就活**のES・面接で、**研究紹介等の支援**経験豊富

● 「トランスファラブルスキル=TS」に早くから注目

- 平成27年のパンフレットでトランスファラブルスキルを紹介
- R1 **インターンシップの目的の明確化**でC-ENGINEがTS-RISEを導入
- R2 **博士後期課程の授業**でTS-RISEを導入
- R4 **大学の計画※**としてトランスファラブルスキル獲得が明文化

※文科省に提出した第4期中期計画、実施担当部署がキャリア開発支援本部

お問い合わせはメールまたはお電話で career-k@cc.nara-wu.ac.jp まで

HP <https://cdpd.nara-wu.ac.jp/>

(TEL 0742-20-3572)